

** 2022年 3 月 改訂 (第 5 版)
* 2018年 6 月 改訂 (第 4 版)

医療機器届出番号 : 09B1X00004000143

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 輸液用アクセサリセット 70326001

クローズドC

再使用禁止

【警告】

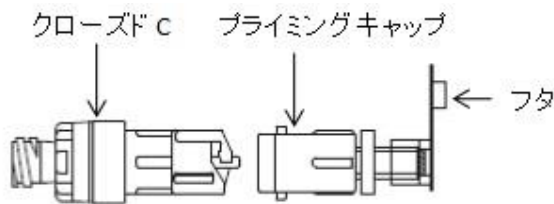
- 本品の接続部は、使用前及び使用中にかかわらず、緩みがないことを常に確認すること。[嵌合が緩み、液漏れを起こす可能性がある。]
- 混注操作を行う場合は、操作前に混注口を消毒薬等で消毒すること。[感染の可能性がある。]
- オス嵌合部は「セーフアクセス 輸液セット」「セーフ T ポート」「セーフ A プラグ」及び「セーフアクセス 輸液セット F」の混注部以外に接続しないこと。
[それ以外の混注部に接続すると液漏れや外れの可能性がある。]

【禁忌・禁止】

- 再使用禁止
- 再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】

< 本品の基本構成 >



- 本品のプライミングキャップはプライミング後に取り外すものである。
- 本品は天然ゴムラテックスを含有していない。

【使用目的又は効果】

本品は輸液ラインや延長チューブ等にコネクタとして接続、或いは混注部に接続するコネクタである。

* 【使用方法等】

1. 汚染に十分注意し、包装を開封します。
2. 本品のメスルアー部を輸液セット等のオスルアー部に接続します。
3. 本品の組み立てを行う。プライミングキャップをクローズドCにまっすぐ押し込みます。押し込んだ状態で右に回転させ、突起（ツメ）と嵌め合わせロックします。
4. 本品のプライミングキャップのフタが開放されていることを確認します。
5. 輸液セットの流量調節器を閉じて薬液容器の所定の位置にピン針を垂直に刺し薬液容器をガートルスタンド等のハンガーに掛けます。
6. 点滴筒を傾け適量が入った時点で静かに戻す等の方法で、点滴筒の半分程度まで薬液を溜めます。
7. 流量調節器を緩めて本品に薬液を満たします。
- * 8. 本品内のエアが完全に抜け、薬液が充填されたことを確認し、速やかに本品のプライミングキャップのフタを完全に閉じます。
- * 9. 輸液セットの流量調節器又はクランプを閉じます。
10. 本品を固定しプライミングキャップを持ちクローズドC方向に押し付けながらプライミングキャップをひねりプライミングキャップを真っ直ぐ取り外します。

11. 本品のオス嵌合部を混注部に取り付け、輸液を開始します。
12. 使用後は、混注部を押し込んだ状態で左に回転させ、ロックを外し、混注部から真っ直ぐ引き抜きます。

* 【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

- 本品はポリカーボネートを使用しているため油性の薬剤、アルコールを含む薬剤、脂肪乳剤などを使用する場合は注意すること。[破損する可能性がある。]
- プライミングキャップをはずす際は、真っ直ぐ取り外すこと。
[薬液漏れの可能性がある。]
- * ● プライミング後は速やかにフタを完全に閉めること。[本品のプライミングキャップ内部のエアーベント（疎水性膜）は、界面活性剤が含まれた薬剤などを使用すると、エアーベント（疎水性膜）が親水化され、液漏れが発生するおそれがある。]
- セーフ T ポートあるいはセーフ A プラグのゴム製注入部の中央スリットへ確実に挿入すること。[ゴム製注入部の中央スリットに挿入しないと、セプタムの欠けや変形等の発生の原因となり、漏れが発生するおそれがある。]
- 本品を穿刺の際にはセーフ T ポート、セーフ A プラグのセプタムゴム部に真っ直ぐ穿刺すること。[セプタムゴム部を外して穿刺した場合や斜めに穿刺すると、本品が破損するおそれがある。]
- 薬剤の側注の際、スムーズに注入できないときは、再度確実に挿入し直すこと。[カニューラがゴムセプタムの反動により抜けるおそれがある。]
- 使用後、セーフ T ポート、セーフ A プラグより取り外す際に、本品を鉗子等で挟んで外さないこと。[本品やセーフ T ポート、セーフ A プラグが破損するおそれがある。]

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

水濡れに注意し、高温・多湿・直射日光を避けて保管すること。

【使用期限】

包装（ラベル）に使用期限を表示している。[自己認証による]

** 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

【製造販売元】

フォルテグロウメディカル株式会社
電話番号 0283-22-2801

** 【販売元】

カーディナルヘルス株式会社
電話番号 0120-917-205